

## 無意識のへん見

小五

最近、テレビを見ていたら、気になるCMが流れてきました。赤ちゃんの声 flowed した後、音声はなく字まくだけで、

「はいはい、今行くよ。」

それと、クマのぬいぐるみがたくさんならぶたなの前で、

「ピンクのがいい。」

と書いてありました。そして最後に、

「聞こえてきたのは、男性の声ですか。」

女性の声ですか。」

というアナウンスが流れてきました。音声がないのに、私はそれぞれが「女性の声」に聞こえました。

赤ちゃんのお世話をするのはお母さんだから、女性の声。ピンクのぬいぐるみをほしがっているのは、きっと女の子だから女の子の声と感じました。わたしはこのCMを見て、わたし自身が「無意識のへん見」をもっているのだと気付くことができました。

「へん見」とは、かたよった考えのことです（『新レインボー国語辞典、学研』より）。つまり、本当のことではなく、思いこみのことです。

わたしは、自分がへん見をもっているとは思っていませんでした。そこで、母に聞いてみると、「あるうで利きの外科医」の話を教えてもらいました。文字だけで読むと、うで利きの外科医は「男性」と思いこんでしまいがちですが、実際には「女性」であり、わたし

たちは知らないうちに、男性らしさや女性らしさを思いこんでいるのです。

わたしのランドセルの色は、うすいピンク色です。はじめはけい光色に近いピンク色を選ぼうとしましたが、六年生まで使うことを考えてうすいピンク色にしました。

ピンクは、わたしの大好きな色です。特にうすいピンク色は、ふわふわとしていてかわいらしく見えます。でも両親が小学生のときは、男の子は黒、女の子は赤が定番の色だったそうです。今でもふわふわとしたうすめの色は、女の子が使っていることが多く、はつきりとしたこいめの色は、男の子が使っていることが多いです。

でも、同じクラスの男の子は、真っ赤なラインの入ったランドセルを使っ

ています。その子が赤い色のランドセルを持っていても、「女の子の色」とは思いません。なぜならば、「その子が好きな色」だからです。

男の子だからとか、女の子だからとか自分の中で勝手に思いこんでしまっていることは多いと思います。男の子だからサッカーや野球が好きで運動が得意とか、女の子だから片づけが上手で手先が器用だとか、その子自身を見ないで思いこんでしまうと、その子のことをきずつけてしまうこともあるのではないかと思います。また、男の子がプリキュアを好きでも、女の子が戦隊ものを好きでもいいじゃないかと思うようになりました。

わたしは、何を好きになるかは個人の自由だと思います。無意識に思いこ

んでしまっていることを、もう一度考  
え直してみたいと思います。

そういえば、始めに書いたCMの中  
で、クマのぬいぐるみをほしがって  
たのを「子ども」だと思ったことも、  
無意識のへん見かもしれません。大人  
がおもちゃをほしがったっていいので  
はないかと思えます。